

## 学習指導案(教科:地歴公民科)

### 1 授業内容

科目:日本史B

単元:藤原氏の進出と政界の動揺

### 2 本時の指導計画と評価方法

#### (1) 単元の目標

奈良時代から平安時代初期の古代天皇制の展開について考察し、その特色を理解する。

#### (2) 本時の目標

奈良時代の政権担当者の区別ができ、その人物に関する問いをグループで作問することができる。

#### (3) 本時の評価基準

(関心・意欲・態度)グループで協働して学習課題に積極的に取り組むことができる。

(思考・判断・表現)奈良時代の政治の流れについて理解し、例題をもとに作問することができる。

(知識・理解)奈良時代の政治の流れを正確に理解できる。

#### (4) 本時の展開

時間	指導の内容・ねらい	学習活動	指導上の留意点・評価
導入 (7分)	・中学校内容の確認  ・学習課題の提示 「奈良時代の政治」	・以下の中学校での学習内容を一問一答で振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">710年、平城京に遷都した 聖武天皇が国分寺を建てる命令をだした 墾田永年私財法が制定された 東大寺が建立された 鑑真が唐からやってきた</div> ・本時の学習課題を確認する。	・「よく覚えているね」などほめ、生徒の学習意欲が高まるような声かけをする。 ・「実はみんなが中学校で習ってきた歴史の裏では、どろどろの政権争いが繰り広げられていたんだ」など、生徒の好奇心が高まるような語りをする。 評価【知識・理解】 中学校での既習事項の知識を身につけている。
展開 (30分)	・7人の政権担当者による政策や戦乱の史実を、系統立てて講義する。	①藤原不比等 ②長屋王 ③藤原四子 ④橘諸兄、玄昉・吉備真備 ⑤藤原仲麻呂(のちの恵美押勝) ⑥道鏡 (⑦藤原百川)	・それぞれの政権担当者の後ろ盾となった天皇が誰であったのかも整理できるよう、図や年表を効果的に活用する。 ・藤原氏と(元)皇族や僧侶が交互に政権を担ったことなど、理解が早まるようなポイントを確実に伝える。 評価【関心・意欲・態度】 奈良時代の政治に関心をもって、説明を聞くとしている。 評価【知識・理解】 奈良時代の政治の流れを正確に理解できる。
まとめ (13分)	・課題提示 「例題を参考にして、奈良時代の政権担当者に関する適文選択の問題を作りなさい。それぞれの選択肢の解説をつけること。」	・配布機能で、課題を生徒に配布する。 ・生徒は6グループに分かれ、例題を参考にして奈良時代の政権担当者に関する適文選択問題を作問する。 ※例題は下部記載 ・例題の解説を聞き、課題について以下を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">・選択肢は20～40字程度の文で作る。 ・内容が文の前半と後半で分かれるように、ポイントを2つ書く。</div> ・グループごとに指定の人物について作問する。 ・テキストふせんを使って、課題に取り組む。 ・提出機能で、グループの代表生徒は課題を提出する。	・クラスの人数が多い場合は、聖武天皇と孝謙(称徳)天皇について作問するグループも追加する。 ・適文選択問題はセンター試験や共通テストでよく出題される形式であり、作問する側の視点も考えさせたい。 ・「いい問題は小テストで使おうかな」など、生徒が課題に前向きに取り組めるようなつぶやきをする。 評価【関心・意欲・態度】 グループで協働して学習課題に積極的に取り組むことができる。 評価【思考・判断・表現】 奈良時代の政治の流れについて理解し、例題をもとに作問することができる。

#### <例題> 生徒に配布する例題と解説

中大兄皇子について、正しく記述しているものを1つ選びなさい。

- 1 中臣鎌足と結び、大極殿にて蘇我馬子を殺害した。 ×
- 2 旻と高向玄理を起用し天皇集権の政治改革を進め、公地公民制を定めた。 ○
- 3 皇極天皇のもと、都を飛鳥板蓋宮から難波宮に遷都した。 ×
- 4 新羅の旧王族の求めにより白村江の戦いを起こしたが唐と百済の連合軍に敗れた。 ×

#### 解説

- 1 殺害されたのは蘇我入鹿 馬子は入鹿の祖父で既戸王とともに政権をにぎった人物

- 2 正しい
- 3 皇極天皇は乙巳の変の時の天皇、難波宮に遷都したのは孝徳天皇のとき
- 4 白村江の戦いは百済の旧王族の助けによるもの、唐と新羅の連合軍に敗れた

<参考> 生徒がつくるテキストふせんの例

藤原仲麻呂について、正しく記述しているものを1つ選びなさい。

- 1 長屋王が失脚したのちに政権をにぎり、養老律令を施行した。 ×
- 2 三世一身の法を制定し土地の私有を認めたが、天然痘により病死した。 ×
- 3 藤原武智麻呂の子であり、道鏡政権に対して乱を起こし敗れた。 ○
- 4 墾田永年私財法を制定し土地の私有を認めたことで、初期荘園が広がりを見せた。 ×

解説

- 1 長屋王の次は藤原四子
- 2 三世一身の法を制定したのは長屋王、天然痘により病死したのは藤原四子
- 3 正しい 道鏡政権に対して起こした乱は「恵美押勝の乱」
- 4 内容は正しいが、橘諸兄政権の記述

(5)ICT活用計画

ICTを主に活用するのは、まとめの部分である。

(手順)

- 1 課題を生徒全員に配布する。  
→ClassPad.netの配布機能を活用
- 2 グループで課題に取り組ませる。  
→ClassPad.netのテキストふせんを活用
- 3 グループの代表生徒は、課題を提出する。  
→ClassPad.netの提出機能を活用

(ClassPad.netを活用する効果性について)

- 1 例題を瞬時に生徒と共有できるので、プリントを配布したりする手間と時間を短縮できる。
- 2 生徒が作問した問題はテキストデータなので、のちに小テストや定期試験などで活用する場合にコピーすることができる。